

全世代同時交流型スポーツ フロアボール —オリンピック競技有力候補—



道北エリア人気急上昇中 スラックライン —全てのスポーツに必要な体幹を鍛える—

第2回 フロアボール & スラックライン 教室

フロアボールとは 防具をつけずにアイスホッケーのまねごとをする北欧発祥のスポーツです。体当たりやスティックを顔の高さまで振上げる危険な行為は一切禁止されているのでとても安全なスポーツです。また、子供から大人までが同時に楽しめるのが特徴で、プロスポーツもあるほど盛んな競技となっています。北海道にはまだまだ根付いていないのが現状ですが、昨年3回目となる「北海道フロアボール大会」が札幌で開催されるなど、各地で体験会も開催され徐々に広がりを見せています。

スラックラインとは 低地で行う綱渡りのようなイメージです。ラインは低く設置し、マットも敷いてあるので年齢・性別問わず誰でも安全に遊べるスポーツです。主に公園などの木と木の間に巻いて設置しますが、気軽に遊べる室内用のモノもあります。また、集中力や体幹に効果的とされ、多くのプロスポーツ選手もスラックラインをトレーニングの一部に取り入れています。

開催日 **8月1日(土)**

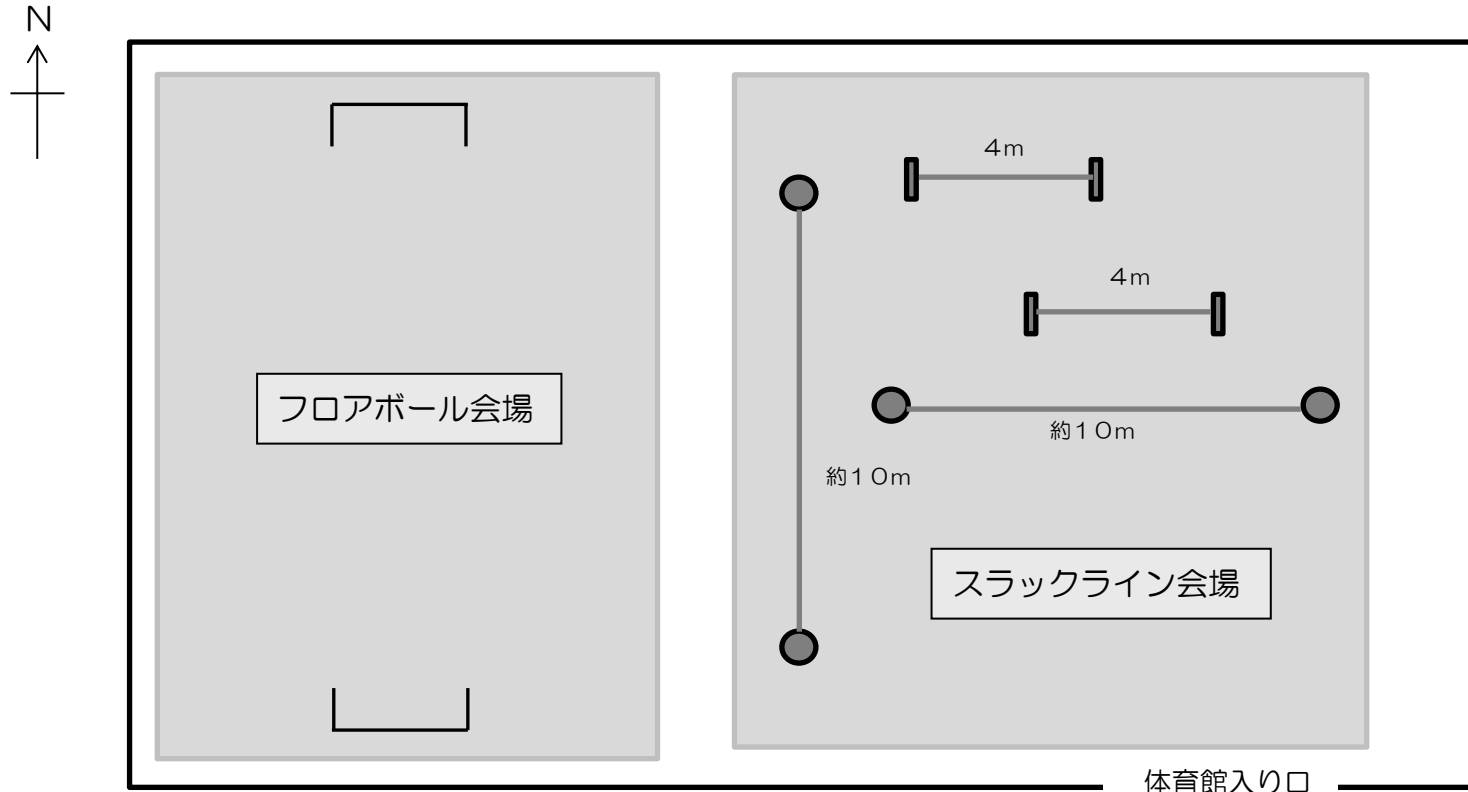
天塩町ファミリースポーツセンター 14:00~16:30

対象 小学1年生から大人まで(年齢上限なし)
持ち物 上靴、飲み物
参加費 100円(傷害保険料) ※7月30日17:00締切り
問合せ 天塩町ファミリースポーツセンター(2-1873)

天塩町教育委員会

裏面もあります

会場図（天塩町ファミリースポーツセンター アリーナ）



フロアボール ルール

スティックを「高くあげない・ガチャガチャしない・転ばせない」を基本に、正規では20分×3ピリオドで試合を行います。体験会当日はフロアボールの基礎を学び、シュートやパスの練習を行った後、10分程度の試合を繰り返し行うような形になります。誰でも気軽に楽しめるスポーツというのを実際に体験し感じてくれればと思っています。

フロアボール担当 一般社団法人北海道フロアボール普及プロジェクト
代表理事 梅田 弘胤

スラックライン 遊び方

綱の上で走らないということを基本にゆっくり綱を渡っていきます。スラックラインの大会では綱の上で跳んだり回ったりしますが、体験会当日はしっかり綱を渡るという基本を学んでいきます。会場には約10mの綱と室内綱用の4mの綱を用意しています。長さによってもバランスをとる感覚が違うので色々試してみてください。

スラックライン担当 天塩町地域おこし協力隊
スポーツ振興担当 河上 耕希

全世代同時交流型スポーツ フロアボール

—オリンピック競技有力候補—



道北エリア人気急上昇中

スラックライン

—全てのスポーツに必要な体幹を鍛える—

第2回 フロアボール & スラックライン 教室

フロアボールとは

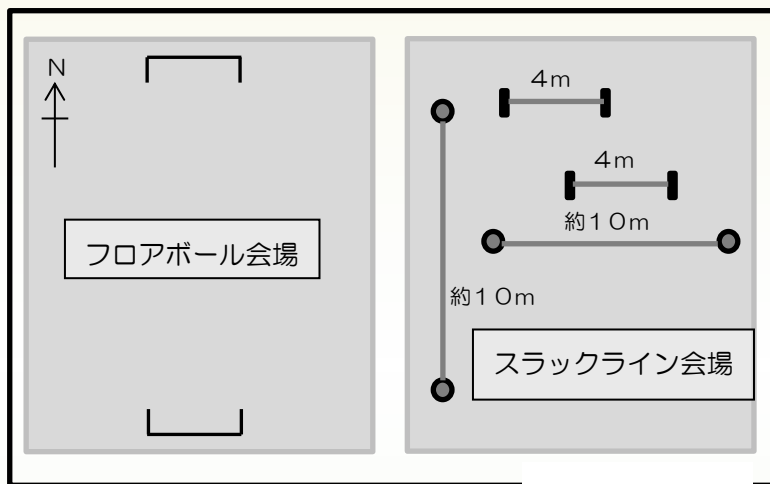
防具をつけずにアイスホッケーのまねごとをする北欧発祥のスポーツで、体当たりやスティックを顔の高さまで振上げる危険な行為は一切禁止されているのでとても安全なスポーツです。プロスポーツもある程盛んとなっています。しかし北海道にはまだまだ根付いていないのが現状ですが、昨年3回目となる「北海道フロアボール大会」が札幌で開催されるなど、各地で体験会も開催され徐々に広がりを見せています。

スラックラインとは

低地で行う綱渡りのようなイメージです。ラインは低く設置し、マットも敷いてあるので年齢・性別問わず誰でも安全に遊べるスポーツです。主に公園などの木と木の間に巻いて設置しますが、気軽に遊べる室内用のモノもあります。また、集中力や体幹に効果的とされ、多くのプロスポーツ選手もスラックラインをトレーニングの一部に取り入れています。

会場図 天塩町ファミリースポーツセンター アリーナ

- 対 象：小学1年生から大人まで
(年齢上限なし)
- 持 ち 物：上靴、飲み物
- 参 加 費：100円(傷害保険料)
※7月30日17:00締切り
- 問 合 せ：天塩町ファミリースポーツセンター
(2-1873)



開催日 **8月1日(土)**
天塩町ファミリースポーツセンター 14:00~16:30

天塩町教育委員会